

## 大切な家族の一員である家庭動物の健康を守る身近なドクター 動物病院の獣医師は、治療だけでなく、さまざまな相談にも応えます

### 家庭動物の健康を守る〈小動物診療〉

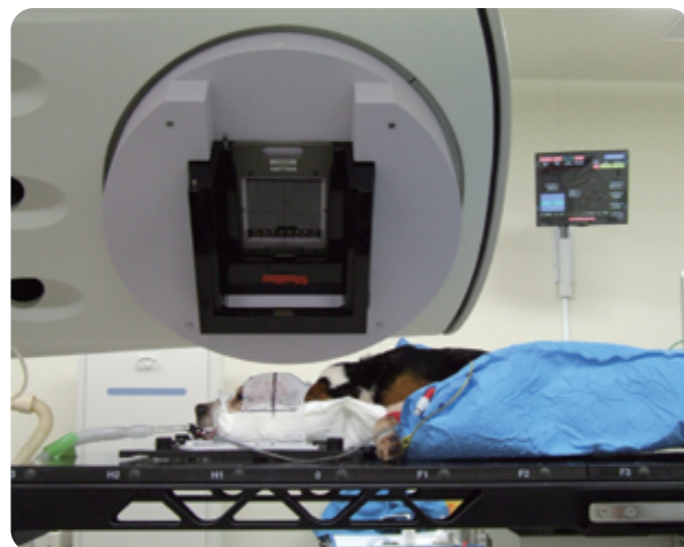
コンパニオン・アニマル（伴侶動物）とも呼ばれ、大切な家族の一員として人とともに暮らす犬や猫、小鳥やウサギなどの家庭動物たち。その健康を支えているのが動物病院の獣医師たちです。

最近では動物病院にもさまざまな形が見られるようになってきました。よく知られているのは、一般診療を行う動物病院で、そこでは治療のほか、健康診断やしつけ、栄養相談など、動物の飼育にかかわるさまざまな相談にも応え、問題の解決に取り組んでいます。

また、専門病院も増えてきており、高度な知識や技術を修得した獣医師たちが、専門的な診療を行っています。そこでは人と場合と同様に、専門の診療科が設けられ、動物の総合病院としての役割を担っています。そのほか、猫、小鳥、ハムスター、ウサギなどの動物種ごとの専門病院もあります。

小動物診療では、狂犬病予防対策をはじめ、各種の人と動物の共通感染症の予防対応も重要な役割です。

各地の動物診療の現場では、獣医師の仕事を支える大切な存在として多くの動物看護職の方々活躍しています。日本獣医師会では、動物の健康に関わるさまざまな活動をしている方々との連携を深め、よりよいチーム獣医療の提供に努めています。



### ホームドクターとしての獣医師

動物病院には、日々治療を求めて小さな動物たちがやってきます。犬、猫、小鳥、ハムスター、ウサギ、中にはヘビやトカゲなどは虫類やカメなども動物病院を訪れます。そこで働く獣医師たちは、飼い主さんにとって身近な存在であるホームドクターです。

ホームドクターの仕事は動物を診ることで、そのほかにもしつけやペットフードについてなど、動物の飼育にかかわるさまざまな悩みや疑問に対応するのも大切な仕事のひとつ。ホームドクターは、動物の診療を通じて飼い主さんの暮らしをより豊かなものにするためのサポート役であるといえるのです。

### "かかりつけの医師"としての役割

すべての動物に画一的な治療を施すことがホームドクターの仕事ではなく、それぞれの飼い主さんと相談しながらベストと思われる治療を選択しなければなりません。言葉を持たない"患者"を診ることはとても大変なことですが、飼い主さんと二人三脚で動物の健康を守っていくことがホームドクターとしての役割であり、獣医師としての仕事の醍醐味でもあります。



### 小動物のための高度先端医療

動物も人の場合と同じで、設備などの問題によって、どうしても専門的な治療が必要になる病気があります。そのような病気に対応するためには、専門的な知識や技術のほか、高度医療機器を使った治療やCT、MRI、PETなどの特種な検査が必要となります。

近年では、皮膚科、腫瘍科、外科、神経科、動物行動科、歯科、眼科など、人の医療と同様に専門分野に分かれた「総合病院」としての機能を備えた動物病院もあり、そこではより専門性の高い治療が行われます。

多くの場合、このような動物病院ではホームドクターと連携しながら治療を進めています。

### 難病に立ち向かう獣医師

人と同じで動物もガンになります。近年では、治療技術や医療機器が進歩するなど、人の場合と同じような検査や治療を施すことができるようになりました。外科療法や放射線療法のほか、抗ガン剤療法や免疫療法など、腫瘍に対する総合的な診療を行なう獣医師がおり、ホームドクターとの連携のもと、多くの動物たちの命を救うために日々努力しています。